

スルメイカの漁況予測に関する研究

今村豊

目 的

青森県の漁獲金額の2～3割を占める重要な魚種であるスルメイカは、海洋環境の変化による漁場変化や資源変動により資源が低下し、スルメイカ漁業者は効率的な操業が困難となっている。そのため、漁場探索時間の短縮による燃油費削減や効率的な操業計画策定による漁家経営の安定に向け漁況予測の手法を開発する。

材料と方法

漁況予測手法の開発のために必要なデータの収集・整備を行った。

結 果

収集・整備を行ったデータは以下のとおりであり、今後、収集したデータを用いて漁場予測手法の検討を行う。

1. 青森県の漁獲データに関する収集・整備したデータ

いかナビ@あおもりの漁獲データ（2018～2019年分）、青森県漁連取扱スルメイカ日計表（2010～2019年分）、中型いか釣標本船データ（1979～2018年分）、その他、青森県集計データ（青森県海面漁業に関する調査結果書）等。

2. 他道県漁獲に関する収集・整備したデータ

他道県のスルメイカ漁獲量（北海道、岩手県）。

3. 海況データの収集

気象庁海面水温の長期変化傾向データ（1900～2018年分）、海ナビ@あおもりJAXAの新衛星GCOM-C（しきさい）データ（2018年分）。

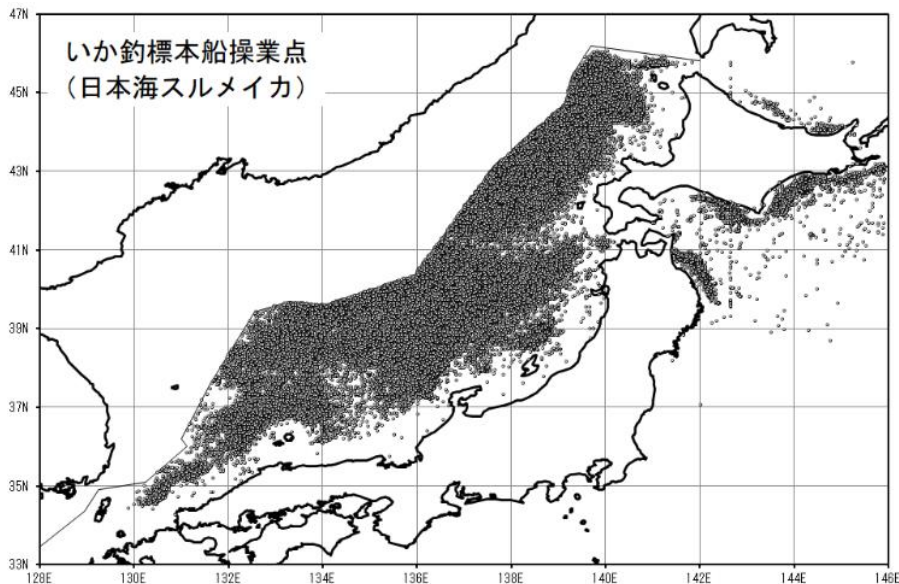


図1 中型いか釣標本船データ（1979～2018年分）